



JR 不採用事件の 早期解決めざす



NO. 611
発行
07・9月15日
国鉄労働組合
新潟地方本部
発行責任者
守橋久仁雄
編集責任者
教 宣 部

決定された
方針

第二十一回国労東日本本部の定期大会が、八月三十一日、九月一日に『ウエルシテイ湯河原』で開催されました。

大会では、JR不採用事件の闘いの取組み、安全問題、労働条件改善の闘い、春闘の闘いなど全体で三十名の代議員から発言がありました。

**国労が正しいと
思って加入**

組織拡大は、昨年十一月から十九名の拡大がありました。

特に二十才の長瀬君が国労に加入しました。大会会場で長瀬君は『国労が正しいと思って加入した。仲間を増やしていきたい』と決意表明をしました。



東日本本部 第十二回マラソン大会 十一月十日(土)

2007年11月10日(土)
11時～16時(予定)
開催場所
皇居外周の
マラソンコース



JR不採用事件の早期全面解決をめざす闘い。～全国大会決定方針に基づき、さらに団結を固め全力で取り組む。当面、臨時国会に合わせた中央行動に全力を上げる。(九月十八日、二十一日行動・十一月三十日、日比谷野外音楽堂中央集会開催)

労働条件 『安全・安定』輸送確立の闘い。～各地方業長・職協代表による『合理化総合対策委員会』の設置、新たな新幹線開業に伴う第三セクター問題等について関係地方本部と対策委員会設置、多発する輸送障害の背後に設備メンテの再構築・車両メンテ近代化をはじめとする効率化・合理化がある。また営業関係ではリモートマルス導入、『今後の駅のあり方』の実施によるサービス低下、契約社員の配置・選任基準問題などある。連日にわたる輸送障害に対して 東日本の施作全体の見直しと国労の対策作り 安全問題を柱にした宣伝のあり方 業長会議などでの具体化など検討 『安全総点検運動』『仕事総点検運動』の取組みを強める。同時に規制緩和の見直し。



「国鉄新潟」表彰

東日本大会で『国鉄新潟』が、機関紙表彰されました。今大会から選考基準が変更され、地本の機関紙も表彰されることになりました。

年間30号以上の発行で表彰されました。

大変、びっくりしています。私が、たまたま教宣部長だったので、この名誉ある表彰に出席できて、うれしく思っています。これからも機関紙活動に教宣活動に頑張っていきます。ありがとうございました。

藤井 明人

二〇〇八年春闘『賃金・生活実態調査』の実施・安全総点検運動 『仕事総点検運動』『組織強化・拡大』 一体の闘い。貨物の『九年連続ベアゼロをなんとかしても打破』する『客貨一体の闘いに全力を。全職場ストライキ態勢を確立する。などさまざまな具体的課題について闘う方針が決定しました。



